

たまがわぐえん町内会広報

発行 玉川学園町内会 会長 山田勝也 ☎725-0438
E-mail:t-chounaikai194@bz03.plala.or.jp http://www.194-0041.com

平成二十二年定期総会

4月18日(日) 午後1時から
さくらんぼホールで開催

総会は新年度の事業計画案、予算案を審議し、地域の諸問題について話し合う大切な会合です。最高の議決機関である総会は70名以上の出席者と過半数の賛否で議決する事になっています。また今年には町内会の運営を進める役員並びに会計監査を決めて頂きますので、是非ご出席されますようお願いいたします。

◎総会の議題

- ・平成21年度 事業報告
- ・ 決算報告
- ・ 会計監査報告
- ・平成22年度 事業計画案
- ・ 予算案
- ・ 会則改正案

◎役員・会計監査の選出

- ・会長 1名
- ・副会長 2名
- ・全区選出幹事11名以内
- ・地区選出幹事19名
- ・会計監査 2名

◎その他

- ・玉川学園交通問題協議会経過報告
- ・玉川学園コミュニティバス推進委員会経過報告
- ・我がまち80周年事業報告
- ・地区社協設立経過報告
- ・旧日本IBMグラウンド跡地対策協議会終結報告
- ・玉川学園地区まちづくりの会経過報告
- ・こすもす会館収支報告

・さくらんぼホール収支報告
・消防団の事業および会計報告

◎役員・会計監査の立候補、推薦の方法

・会員は誰でも立候補できます。
・また会員は誰でも他の会員を推薦することができます。(但し、推薦する場合には本人の了解が必要です。)

・立候補届出は4月12日(月)10時～4月16日(金)12時まで
・前に設置の立候補届出箱にて受け付けます。
・用紙は自由ですが住所氏名(ふりがな)を明記してください。
・推薦の場合は推薦者氏名もお書きください。
・立候補・推薦状況の中間発表は4月14日(水)14時町内会事務所前に

◎選挙世話人は次の方々です。

- 第1地区 椎橋 茂
 - 第2地区 浅井 和子
 - 第3地区 亀田 良春
 - 第4地区 春日 尚子
 - 第5地区 藤吉 健郎
 - 第6地区 田村 光子
 - 第7地区 石原 一男
 - 第8地区 丁場 勝偉
- ※印 選挙世話人代表です。



「みんなのまち みんなの町内会
我がまち80年記念の年」をかえりみて
会長 山田 勝也

地域ぐるみのわが街80年事業

平成21年度の町内会事業・活動は、皆さんのご理解、ご協力と幹事の活躍により、ほぼ計画通り実施することができました。改めて感謝申し上げます。

この一年は、私たちのまちが誕生して80年の記念すべき重要な年として、記念事業や活動を地域ぐるみで展開しました。その中から、いくつかを記述し、大勢の方々の活躍に支えられた一年をかえりみることにします。

「我がまち 玉川学園地域 80年のあゆみ」の刊行

1929年(昭4年)学園の創設から始まったこの地は、先人や先輩によって築き上げられました。玉川学園地域の歴史や学園が誕生してからのまちの歩み、町内会の発足から現在に至る活動などを、まとめることができました。本書は、一昨年、編集委員会を発足させて以降、多くの方々の協力によって作成したものです。関係者の皆さんに衷心より感謝申し上げます。

地域の福祉を考え行動する年

玉川学園地区町内会自治会連合会が一つになって、地域福祉づくりをすすめる活動が大きく開花しようとしています。子どもからお年寄りまで、障害のある人もない人も福祉課題を話し合い、助け合い、活動するネットワークづくりを、地域の福祉団体の皆さんが中心となって推進しました。

「市長と語る玉川学園地域懇談会」

「まちづくりの夢・課題を語り合い 市民協働を实践する」

総合防災訓練が更に充実しました

大規模災害はいつ起こるかわかりません。自主防災隊組織を中心に日頃の助け合いや備えが大切です。玉川学園地域の町内会・自治会が一体となって総合防災訓練を小学校区毎に開催することが肝要です。

従来の第五小学校、成瀬台小学校に加えて、南大谷小学校区の総合防災訓練が実施されました。各会場では、町田消防署がはしご車や大型消防車を持ち込み、レスキュー隊が救助訓練を行う様子は、参加者の感動を呼ぶ有意義なイベントとなりました。



集う！わが街 80年 事業

担当幹事 雨宮 正輝

平成21年4月1日より平成22年3月31日までの1年間を「集う！わが街80年」として、玉川学園地区町内会自治会連合会、玉川学園地区で活動されている各種団体、商店会及び学校関係の32団体の皆様方の参加を頂き各種イベントを開催させていただきます。

活動には、80年事業推進世話人会を立ち上げ、世話人幹事会を発足。代表・高見沢氏、副代表・大橋氏、事務局・沖垣氏



ロゴマーク

チラシは町内会自治会連合会の会員の皆様方を中心に配布し、参加をお願いする活動を行いました。イベントはころころ児

玉川学園地区社会福祉協議会 立ち上げに向けて

担当幹事 雨宮 正輝

平成21年4月より地域福祉のネットワーク化(福祉の街づくり)を玉川学園地区町内会自治会連合会とこの街で活動されている15団体の皆様と福祉ネットワークを作り、「誰でも、いつでも助け合える地域を目指して」と題して、この街に住む一人ひとり、全ての方々が安心して暮らしやすい街になるよう活動を展開してきました。

毎月1回、約2時間の交流をかさね各団体の困りごとなどの報告と、ネットワーク構築について

押村氏、まちづくりの会・清瀬氏、町内会・鎮目氏、雨宮氏が定期的に世話人幹事会を開催し、各団体が行うイベントについてチラシ、ポスター、共通ロゴマークなどの作成を行いました。

話し合いを行っておりました。6月に、町田市社会福祉協議会(市社協)より、玉川学園地区社会福祉協議会(地区社協)立ち上げに向けた活動を行なうかとの誘いを受けました。

それに合わせ、地区社協について理解を深めるために市社協より説明をいただき、意見交換会を開催しました。その後交流会で話し合いを行い、9月には参加団体の方々と地区社協設立に向け準備を進めようとの賛同を

得て準備を開始しました。また、わが街の福祉活動を紹介する意味もあり、助け合いマップの製作準備をはじめました。11月には、町田市との「市長と語る懇談会」で、地区社協立ち上げ準備について紹介する機会があり、できるだけ早い時期にコミュニケーションが必要である訴えをいたしました。

童館が開催する行事、町田第五小学校の団体が開催する行事、玉川大学のご協力を頂き、南大谷中学校の生徒によるフラッグの製作、小さなギャラリィ会が開催する催し、商店会が開催する夏祭り、町田市の景観条例施行にあわせ、玉川学園の環境色彩ワークショップ、この街文化祭として玉川学園で制作活動を行っている団体の作品展示、音楽活動を行っている方々のコンサート、福祉関係としては若年認知症についての講演会など多岐にわたる開催を行いました。11月には80周年記念行事として、「窓から飛び出せ」の映画鑑賞会を開



「窓から飛び出せ」観賞会

催しました。この映画は昭和25年玉川学園在住の俳優大日向 傳氏の自宅を舞台に撮影されたもので、香川京子氏デビュー作でもありました。

当時の玉川学園の風景を100名余りの方々と楽しむ機会を持つこともできました。ファイナルイベントとしては、平成22年3月末に開催された玉川学園さ

また、横浜市緑園都市の地区社協の方々と交流会を行うなど、少しずつ地区社協にたいする理解を深めてきました。2月7日には、地区社協への理解を住民の皆様方にも深めていただくために、講演会とシンポジウムを開催しました。内容は、立教大学コミュニ

より「地域福祉と地区社協について」の講演をして頂きました。当日は100余名の方々の参加を頂き、ありがとうございました。



また準備していましたが、第一版の助け合いマップも完成し、当日参加の方々に配布させて頂き、2月末には、玉川学園地区町内会自治会連合会の会員の皆様方にこのマップを配布しました。

くらめぐりに合わせて、玉川大学農学部山岡准教授による「玉川学園のさくら 今とこれから」と題した講演会を行うと同時に、玉川学園の桜について再考していただく目的で、20年前に作成された「さくら散歩路」の復刻版の作成も行うことができました。

最後に、この1年間を通して、色々と協力を頂いた大勢の皆様方に心より御礼を申し上げます。街となることを祈念し報告とさせていただきます。

また準備していましたが、第一版の助け合いマップも完成し、当日参加の方々に配布させて頂き、2月末には、玉川学園地区町内会自治会連合会の会員の皆様方にこのマップを配布しました。

平成22年4月から5月には地区社協を立ち上げるため、準備をすすめております。どうか皆様方の絶大なご協力をお願いし、平成21年度の活動報告とさせていただきます。

11月20日、玉川学園地域で取り組んでいる、地域のまちづくりの諸課題のうちから、次の3つをテーマに選び、市から石阪市長をはじめ関係各部長など10名、町田市社会福祉協議会から3名の出席をいただき、玉川学園地区町内会自治会連合会の役員、玉川学園地区まちづくりの会、地域の参加住民90名の方々と、玉川学園地域のまちづくりの市民協働の実践について、2時間に亘り、密度の高い、熱い語り合いの場が、さくらんぼホールで持たれました。

「市長と語る玉川学園地域懇談会」

副会長 鎮目 義雄



テーマ1は、「健康で安心して住めるまちづくり」として、少子高齢化の進む玉川学園地域で、地域住民と地域福祉活動団体とを結び地域福祉ネットワークと、町田市で初めての地区社会福祉協議会設立に向けての準備活動について意欲的に語り合いがなされました。

テーマ2は、「安全な交通環境とだれもが公共交通を利用しやすく移動できるまちづくり」として、山坂の多い玉川学園地域の住宅街を、子どもも高齢者も安心して利用できる、玉川学園のニーズが生んだコミュニティバスの今とあすについて意見交換が活発にされました。

テーマ3は、「文教地区に相応しい環境のまちづくり」として、「玉川学園地域まちづくり憲章」制定と「まちづくり方針」、「住みよいまちと暮らしのデザインガイド」を創造する、熱い提言が語り合われました。

「玉川学園まちづくり憲章」「まちづくり方針」「住みよいまちと暮らしのデザインガイド」は、「玉川学園まちづくりの会」のホームページ <http://tamagaku.blog.jp/> にアクセスしてご覧ください。地域で取り組んでいる諸課題については、市も深い理解を示され、今後の活動の更なる発展に対し暖かい激励の言葉を戴きました。

総務部

年間を通して各定例会議の準備と開催、またこれらの委員会にとりまなう各部との連絡調整。



3月9日 今期最終支部長会

◎回覧資料のとりまとめ および支部長さんへ回覧のお願い。

部長 鷹著 宏代

◎会員および同居家族の新入学児童へのお祝いの品・慶弔金のとりあつかい。

◎募金拠出

- ・(資源回収収益金充当)
- ・日本赤十字社社員会費 (5万円)
- ・町田市福祉協議会募金 11月 (5万円)
- ・赤い羽根共同募金 10月 (15万円)
- ・歳末助け合い募金 12月 (15万円)

◎会員名簿改訂 ◎その他団体とのかわりなどが町内会全体の運営を担当しています。

防犯防災部

防犯活動では、6月に防犯活動責任者会議を開催し、防犯パトロール等年間の活動計画に付いて打ち合わせをしました。この会議には、地域の小学校長や小学校PTA、地域駐在所の巡査にも出席をお願いして、意見交換を行いました。

防犯パトロールは町内会全域で、昨年引き続き実施し、年間140日で延べ1900人が参加しました。

一方防災活動は、今年も自主防災隊組織が中心になり、活動を展開しました。

防災訓練は3会場に分かれ、第一会場は町田第五小学校、第二会場は成瀬台小学校で8月23日に、

部長 三浦 光利

第三会場は南大谷小学校で8月29日に実施しました。第一会場では、災害時にボランティア活動をする、玉川大学の学生が初めて参加してくれました。参加者総数は、3会場合わせて713人と過去最高になりました。

平成22年4月から、住宅用火災警報器の設置が都条例で義務づけられるため、10月に警報器の販売斡旋を行いました。その結果、約900世帯に3、570個の警報器が玉川地区の家庭に設置され、町内会会員の生命・財産を守るのに役立つと思われれます。

環境部

昨年から実施している年間「環境パトロール」はなじみの活動として会員には認知されるようになってきたように思われます。しかしこの活動が環境保全のためのポイ捨て禁止に結び付くには時間がかかりそうです。町内会の皆さんの同意を得てから路上禁煙のようにはつきりとした目標を持つことが必要かも知れません。

「資源回収」活動は引き続き昨年実績の2割増しの成果を上げました。6月の「リサイクル施設見学」は六月で杜若も



防災体験風景

活動の主なものは下記の通り。

- ・5月17日 防災委員会 (自主防災隊組織作り)
- ・6月8日 防犯活動責任者連絡会議
- ・7月19日 町田市主催 自主防災隊長講習会
- ・7月26日 防災体験学習 (立川防災館)
- ・8月22日 緊急連絡情報伝達訓練
- ・8月23日 玉川学園地区合同総合防災訓練 (第一会場 町五小、

部長 望月 富雄

楽しもうと欲張った計画でしたが花盛りの方が一足先でした。「善意の傘」のご協力で駅構内の傘整理は順調に行われました。若者に人気のビニール傘は壊れやすく相変わらず不燃ごみの山の元となっています。関連する傘のお絵かきは会場を第五小学校での10月の子ども祭りの中で行いましたので、エコバッグ作りまでの展示を行いリサイクル運動の啓蒙に役立ちました。「憩いの椅子」はあらたに第六地区に1脚増設し喜ばれています。

第二会場 成瀬台小

- ・8月29日 防災訓練 (第三会場 南大谷小)
- ・10月4日 住宅用火災警報器販売斡旋
- ・10月30日 家庭用消火器購入、詰め替え、廃棄の業者紹介
- ・12月3日 防犯勉強会
- ・12月23日～30日 年末特別警戒パトロール
- ・1月10日 町田市消防団出初式参列



成人部

◎健康ウォーキング 6月6日 参加者76名 当日はあいにくの小雨模様でしたが、こすもす会館を午前10時にスタートしました。昭和薬大前から成瀬の東雲寺へ、白鷗時代に制作された町田市文化財の誕生釈迦仏立像を拝観し、成瀬尾根緑



「違反広告物除却」について業者に違反の事実を伝え善処してもらった件数は減ってきましたが、最近では不動産売り出し広告を赤いコーンに貼り路上に並べる新手が出てきました。これは違反です。休日前後に多く設置・撤収が早いため油断できません。10月の「ごみフェスタ2009」では昨年と同様スタンプリーを担当し、景品にエコバッグを用意したのは好評でした。

ごみ減量推進活動の一環として生ごみ処理機購入グループ作りをスタートさせましたが、説明会を環境協力員会、地区会、町内会会員向け等で8回以上実施し30名余が申し込まれました。参加人数を見ますとまだまだ生ごみ処理の問題点を伝えきれない点と反省させられます。限られた人数と時間の中で環境部の活動を支えてくださった幹事、環境協力員、町内会の皆さん、ありがとうございます。

部長 伊藤 厚

の旗艦として活躍した「三笠」を見学して往時を偲びました。その後東京湾に入りする大型船を眺めながら走水海岸を走り、浦賀水道を通る船を間近に見る事ができる観音埼灯台へと向かいました。

東京湾に突出した岬からは、変化に富んだ自然美あふれる岩場がのぞまれ、静寂で心地よい潮風を満喫しながら砂浜での散策を楽しみました。その後観音崎京急ホテルにておしゃべりをしながら昼食、ベイブリッジを経て味の素川崎工場へ行きました。工場は東京ドーム8個分の面積があり、各工場へはマイクロバスを使つての移動でした。耳かきほどの少量の調味料「ほんだし」を汁に加えると、うま味が増す実演があり、皆さん納得した様子でした。



横須賀美術館の前庭で

◎親睦日帰りバス旅行 10月22日 参加者90名 三浦半島をめぐりと味の素川崎工場見学に行きました。横須賀市の三笠公園では、日露戦争で連合艦隊

高齢者部

●敬老会の開催

敬老会は9月27日(日)町五小で開催しました。天候にも恵まれ、敬老を祝う日にふさわしい集いとなりました。来場者総数は年々増え、390名を超えました。主賓は申し込みベースで191名(招待者173、来賓18)だったこともあり、テーブル配置は従来の5列から6列にして参加者増に備えました。実際には、178名(招待者161、来賓17)の出席でした。



玉川学園地区の高齢者社交界のビックイベントとなった敬老会ですが、その開催にあたっては、会場校の先生方から当日の準備に協力してくれたボーイスカウト町田第13団の団員、リーダー、サポーターなど多くの方々の支援があつて実現したものです。この機会に係者各位にお礼を申し上げます。会は特記すべき

部長 田中 伸幸

事故もなく、大盛況のな



ボーイスカウトがお手伝い

か幕を閉じることができました。

●地域ケア会議

この会議は、桜実会・地域包括支援センター主催で、「安心して暮らせる町づくり」をめざし、域内の民生委員、おまわりさん、町内会、消防団などが集まり解決策を見出そう、とするもので、年5回開催されました。そのテーマには、「高齢者介護支援ポイント制度」(市役所)、「地区消防団の役割」(第五分団)、「地域の安全について」(駐在所)、「一人暮らし高齢者への対応」(民生委員)、「防災訓練の意義」(玉川学園町内会)、「支え合いマップ作り」(主催者)などがあります。

●高齢者諸団体との交歓

今年度は、平成21年5月から翌年1月にかけて、うきうきクラブ、西寿会、在宅福祉の会・会食お楽しみ会、たまりば7と各々1~3回交歓したほか、三者合同七夕祭、新年会(うきうきクラブ)にも参加しました。

青少年部

青少年部の取り組みは町内会々員の皆さんのお

部長 亀田恵津子

プレゼントをもらい笑顔で帰る子どもたちの顔を見て健やかに育つてと思う催しであります。

一方、町田市青少年健全育成玉川学園地区委員会と連携する中、通学路安全点検、そして町田五小を会場にした行動的な催物への取り組みであります。

その中の催物のひとつ

は、「あったか座」によるクリスマスプレゼントとなる光のページェントによる夢のある幻想的で楽しいものとなり、終わりにはサンタクロースから

文化部

部長 岩崎けい子

誰で和心が伝わる。

テーマ「わがまち80年」を考慮した催しをしました。子どもから高齢者の皆さんが参加演出する文化祭形式は町内会初めての企画でした。日時 10月31日(土) 11月1日(日) 作品展中心 体で表現

会場 さくららホール ポスター・チラシや念願だったスタッフTシャツも出来上がり、爽やかな朝の空気に和太鼓が響き文化祭は始まりました。会場内は所狭しとばかりに並ぶ力作の絵画・書・写真陶芸・折紙・小物・華やかなアートフラワー・ハワイアンキルト・創作活花・木目込み人形吊し



Hip-hopdanceで始まる夜の部は、「わがまち今昔!」の貴重なお話を

お二人の先達から教えて戴き、「愛の賛歌」独唱参みる一日目は暮れて行きました。二日目は、多種彩々。女性コーラスから、子どもヴァイオリン演奏、

おこないました。杵が重かった。



しかし、自分がついたお餅を皆んなが食べてくれて嬉しかったと子どもたちが満足する顔を見て、これからも同じ街に住む子どもたちに大きく育って貰いたいと思い、育てるお手伝いをしていかなければと思う一年でありました。

経理部

部長 中村 康佑

昨年(平成21年)は、玉川学園地域にとって、わが街が玉川大学と共に誕生して80年目を迎えた節目の年でした。

「町内会員になって良かった」といわれるよう努力を続けてまいりたいと考えます。

玉川学園町内会として会員の皆さまのために80年史「わがまち 玉川学園地域 80年のあゆみ」を発刊させて頂きました。更に、各地区毎に地区会議、支部会議、班会議が充実し、活発に開催されるようにと予算を計上致しました。これらの事業を展開できますのも、皆さまからお預かりしている町内会費(一般会計)や資源回収収益金(特別会計)などの賜物です。これからも、ムダを省き、予算を有効に使いながら

「八」という字は、「未広がりが」とか。「開く」というイメージがあります。80年の節目を刻み、次の「百年」に向けて発展し続けるためにも、町内会は、「会員の皆様のため」という原点に立ち戻り、皆様方のために「何ができるか!」と言うことを、常に問い続けながら頑張つてまいりたいと考えております。今後とも、皆様方のご協力を頂きたいと切にお願い致します。

広報部

部長 豊吉 重充

皆んなのまち、皆んなの町内会を、「広報」、「町内会だより」、「ホームページ」でお伝えしてきました。

いえます。なお、この町内会情報活動に、今期、使いやすいプロジェクトを用意しました。



参加延人数700人の文化祭は幕を下ろしました。この企画に賛同し出展出演戴いた全ての方に心よりお礼申し上げます。出会える喜びは宝物。

特別な操作知識や複雑な配線を要せず、ムービーも上映出来ます。会員の皆さんと町内会を更に身近にするために役立ちます。ご活用下さい。

